

夏休み 小学生ボランティア体験報告書



平成25年8月2日・5日

富里市市民活動推進課

8月2日（1日目）

□ 8 : 4 5 集合

福祉センター2階大会議室

□ 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0

オリエンテーション

- ・ 内容、九十九荘の説明
- ・ 自己紹介

オリエンテーション



・ 期待と不安が入り混じる中、介護士の加藤先生から施設の説明や、車イスの使い方、お年寄りへの接し方を伺いました。

□ 9 : 3 0 ~ 1 0 : 5 0

ボランティア学習

高齢者・障がい者疑似体験



- ・ 高齢者装具を着て車いすに乗ったり、ゴーグルと白杖を使ったりして、高齢者や障がい者の体験をしました。
- ・ 体を動かすのが大変で、高齢者や障がい者の気持ちを考えることができました。



□ 1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 0 0

休憩

□ 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

- ・ メッセージカード作り
- ・ ペットボトル花瓶工作

ボランティア団体活動体験



- ・ ひとり暮らしのお年寄りに届ける配食に添える絵手紙づくりと環境活動として、ペットボトル花瓶工作をしました。
- ・ 参加した小学生はみんな真剣に取り組みました！

8月5日（2日目）

□ 8 : 4 0 集合

福祉センター玄関前

□ 9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0

作業体験

・ 九十九荘での作業体験

レクリエーション

・ レクリエーションにも参加しました！

・ おじいちゃんおばあちゃんと一緒に話しかけ、運動をして楽しい時間を過ごしました。



作業体験（九十九荘）

・ いよいよ九十九荘での作業体験！
・ 鈴木先生からシーツ交換時の注意点を伺い、一生懸命お手伝いをしてきました。



□ 1 2 : 0 0

昼食（福祉センター）

□ 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

体験のまとめ

ボランティア体験のまとめ



・ 2班に分かれて、ボランティア体験のまとめを作りました。

体験をした感想

1. 楽しかったこと

- 花びんづくり。絵はがき。上手にかけた。
- 車いすにのったり、いろいろ体験ができて楽しかった。
- 九十九荘に行ってお年よりの人といろいろな体そうをしている時、となりにいたおばあちゃんといっしょに歌をうたいながら、足ぶみをしたことが一番楽しかったです。
- おじいちゃんおばあちゃんと話かけるのが楽しかったです。あとたいそうをやるのがすごかったのしかったです。
- たいそうをしたのがおもしろかった。
- 九十九荘に行って、最後にお年よりといろいろ体そうをして楽しかったです。
- 九十九荘でレクや体そうみたいなのであそんだり、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に行動できて楽しかったです。
- 九十九荘で92才のおばあちゃんと話した時。花びんづくり、メッセージカードづくり。
- 九十九荘に行って、お年よりに会っていっぱい話ができ楽しかったです。そして101才のお年よりとあく手ができうれしかったです。
- おばあちゃんやおじいちゃんたちと体操をやったりしたこと。

2. 大変だったこと

- 車いすの道具があまりわからなかった。
- そんなにない。
- お年よりのベッドはすごくくふうがありました。ベッドの高さなどが違くて大変でした。
- シーツをかえるがたいへんでした。マクラをやるのがたいへんだったもようです。たたみのベッドもたいへんでした。
- 九十九荘でシーツこうかんがとてもたいへんでした。
- シーツをかえるとき、とてもつかれました。シーツがえは、とても大変でした。
- 九十九荘でシーツ交換をすることを体験したけど、1人のシーツをこうかんするだけで、少しつかれるなと思い大変でした。
- 九十九荘でシーツがえをした時、こんな大変なことをしているんだなと思った。
- （1日目）の車イスに乗ってお年よりと同じ立場になり、階だんやエレベーターを利用したとき、とても大変でした。
- ベッドのシーツをとりかえること。

3. 勉強になったこと

- 車いすの道具が勉強になった。
- 車いすには、いろいろしかけがあって「手を△にしておすとひらく」とか勉強になった。
- お年よりの人たちの病気が1人1人ちがく、ベッドのしゅるいなどでちがうということがわかりました。
- 102歳まで生きていて元気にいったことすごく勉強になりました。
- おじいちゃんおばあちゃんでも、とても元気なことがわかりました。
- お年よりには、どこかが不自由な人もいるから、かいじょの人がいないと、きけんそうでした。
- 九十九荘でおじいちゃん、おばあちゃんがいるけど、体の不自由な人は毎日生活するのは、とても大変なことがわかり、九十九荘の人も大変だということが勉強になりました。
- 老人ホームには、こんなことをしている人がいるんだな、こんな老人がいるんだな。
- お年よりは、毎日こんな大変な思いをし、体そうや体を使った遊びをしていたことがわかった。お年よりは、毎日いろんなことをして、毎日を楽しんでいるんだと思いました。
- お年よりは毎日生活するのがたいへんなこと。

4. 誰かのためになる仕事をしてみた感想

- みんなが感しゃしてくれと思います。
- すごく大変だと思った。
- 誰かのためになる仕事をしてみてすごくたいへんでした。私たちが仕事をしたのはほんの少しだったのにつかれてしまっていていつもやっている人はすごいと思いました。
- すごい102歳まで生きてるんだと思いました。
- とてもたいへんでした。
- お年よりへの仕事をして、とてもつかれました。かいじょの人がいないとお年よりの人は大変ということがわかりました。
- 九十九荘で、誰かのためになる仕事をして、シーツ交換や体の不自由な人の世話など、いつも九十九荘の人がやっていて、大変だと思いました。
- 老人ホームの人はいろいろな苦労をしているんだなと思った。
- 見た目では、楽しそうだけど、自分がやってみるととてもたいへんでした。でもそれが「誰かのためになる仕事なら」と思ったら、たいへんには思わなくなりました。
- 誰かのために働くのはたいへんだけど、その人がわらってくれるのがうれしかった。

小学生体験のまとめ



2日のまとめ



5日のまとめ

参加者：10人（5年生：7人，6年生：3人）

富里小学校 7人

富里第一小学校 2人

七栄小学校 1人

協力：

絵手紙サークルつくしんぼ

MOAイキキワクワク健康生活ネットワーク富里

社会福祉法人清郷会（九十九荘）

富里市社会福祉協議会、富里市ボランティアセンター